

## 第25期末（2023年9月19日）

基準価額	13,560円
純資産総額	35億円
騰落率	18.5%
分配金	1,100円

# ニッセイ 次世代医療ファンド

追加型投信／内外／株式

## 運用報告書（全体版）

作成対象期間：2023年3月18日～2023年9月19日

第25期（決算日 2023年9月19日）

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

## 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ次世代医療ファンド」は、このたび第25期の決算を行いました。

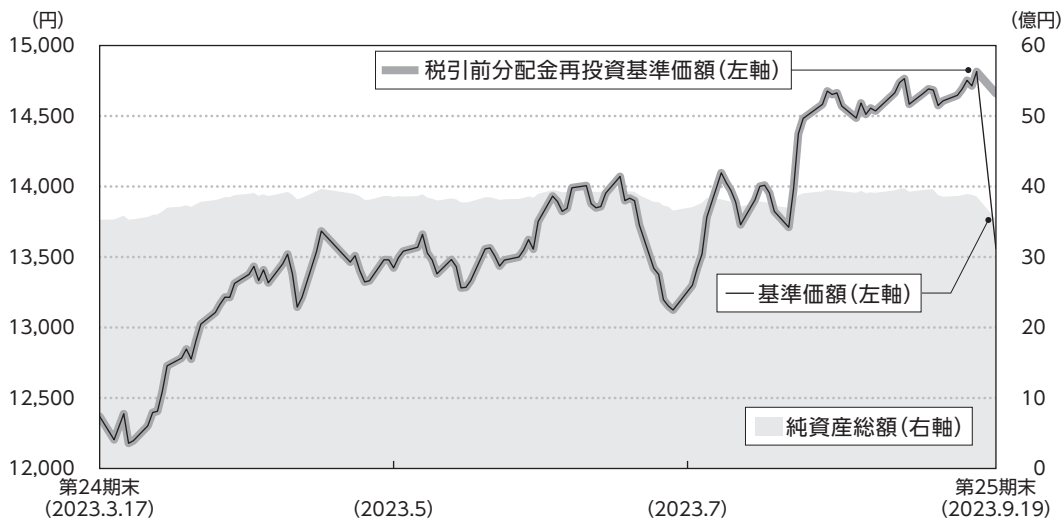
当ファンドは、主に日本を含む各国の「医療関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

# 運用経過

2023年3月18日～2023年9月19日

## 基準価額等の推移



第25期首	12,369円	既払分配金	1,100円
第25期末	13,560円	騰落率(分配金再投資ベース)	18.5%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・期初から4月上旬にかけて、金融危機に伴う金融引き締め緩和への期待感や、金融不安への欧米当局の対応が迅速に行われたことで株価が上昇したこと
- ・7月中旬から8月上旬にかけて、抗肥満薬の治験結果動向や米国における爆発的な需要を好感したことで保有銘柄の株価が上昇したこと
- ・当期を通じて、日銀の金融緩和継続姿勢や世界的な金融引き締め継続を受けておおむね円安が進行したこと

### <下落要因>

- ・5月下旬から7月上旬にかけて、米債務上限問題が嫌気されたことやインフレの落ち着き、一部の生成人工知能(AI)関連銘柄への物色が集中し投資家のリスクを選好する動きによりヘルスケアセクターは取り残される展開となったこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第25期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	128円	0.933%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は13,691円です。
(投信会社)	( 61)	(0.447)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 61)	(0.447)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 5)	(0.039)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	2	0.015	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	( 2)	(0.015)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	1	0.004	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	( 1)	(0.004)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	3	0.023	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 2)	(0.014)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 1)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 1)	(0.005)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	134	0.976	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

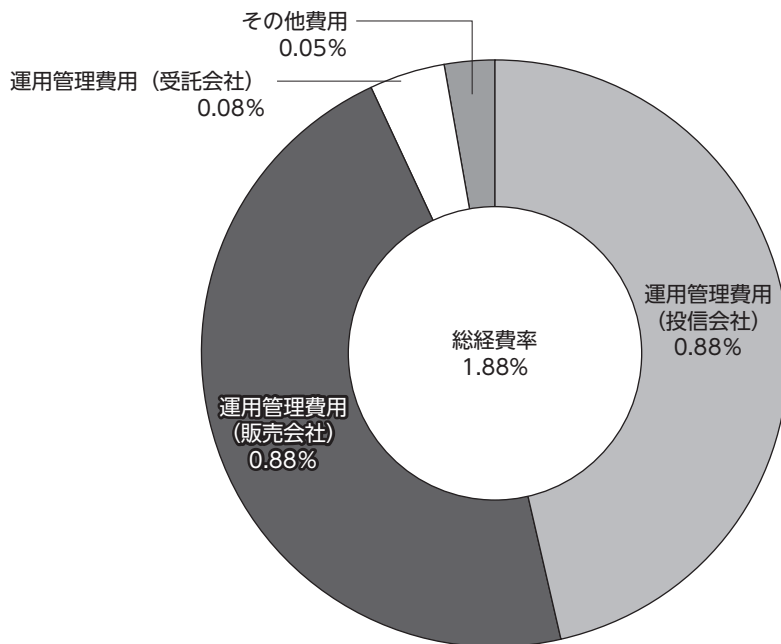
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

## ■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.88%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

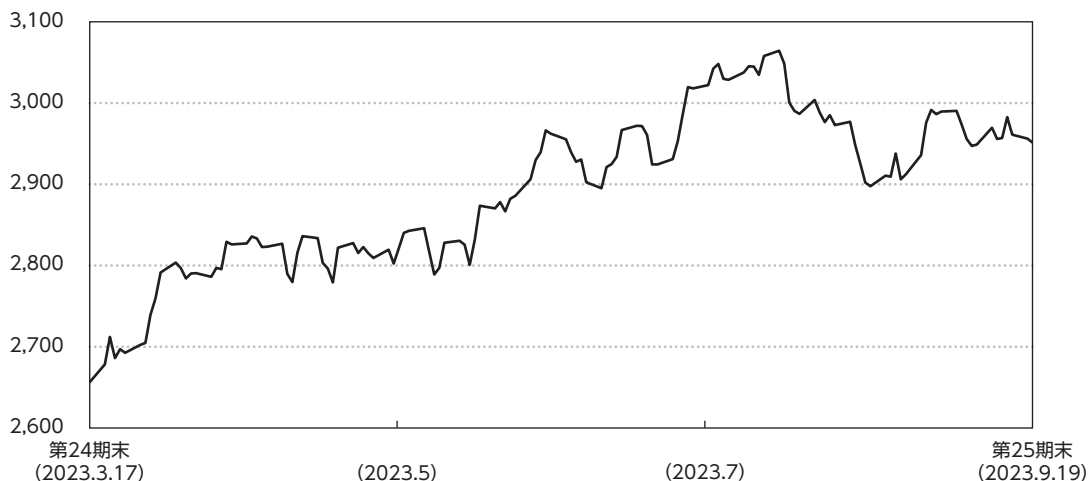
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 株式市況

【MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックスの推移】



(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

当期の株式市場は期を通じて見ると上昇しました。

米地銀の経営破綻に端を発した欧米での金融不安への当局の対応が早かったことに加え、今後の金融引き締め早期完了期待が高まるかたちで、テクノロジー株をけん引役として上昇する展開となりました。その後、主要グローバル企業の良好な業績動向に加え、生成AIの爆発的な成長による恩恵を見込む米半導体企業の業績見通しを手掛かりとしたAI関連銘柄への物色が進み、特に米国の金融引き締め減速見通しにより、金融引き締め環境下で大きく下落していた高成長・テクノロジー株の買い戻しとみられる動きが強まりました。しかし、世界的な金融引き締めの継続や大手格付け会社による米国債の格下げに端を発した米長期金利の上昇や中国の景気減速と不動産問題の深刻化などが嫌気され、上げ幅を縮めるかたちで当期末を迎えました。

## ポートフォリオ

主に日本を含む各国の「医療関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

### <個別銘柄>

「新薬開発」関連銘柄については、今後大きく売り上げを伸ばすことが見込まれる研究開発パイプライン（研究開始から承認・発売にいたるまでの開発品）を持つ企業や、アルツハイマーや抗肥満薬のようにジェネリック医薬品（注）の製造が困難な医薬品開発で高い競争力を持つ企業、またオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）に力を入れている企業に注目しています。引き続き相対的に株価の割安感があり、新薬が業績に反映する良好なサイクルの初期段階であると判断し、最も比率の高い分野となっています。

「医療インフラ」関連銘柄については、医療の革新・進化を支える企業が多く、医療サービスの変化を背景にIT（情報技術）の進化を活用して革新的なサービスを提供できる企業や、付加価値の高い製品を持ち、シェア拡大が期待できる企業を中心に保有しています。

「動物用医薬品」関連銘柄については、ペット需要の拡大等もあり動物の健康被害抑制を目的とした医薬品市場の拡大から恩恵を享受できる企業を中心に保有しています。

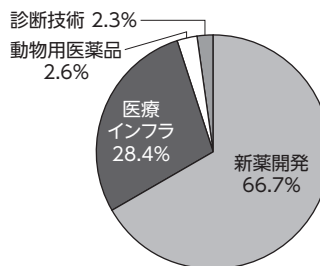
「診断技術」関連銘柄については、医療技術の進展に注力し、医療支出抑制や個々に合致した治療の促進を目的とした個別化医療の進展で恩恵を受ける企業を中心に保有しています。

（注）製薬会社が開発した医薬品の特許切れに伴い、有効成分や効能・効果などが同じものとして新たに製造・販売される安価な医薬品（後発医薬品）。

### <成長分野別>

当期末時点では、組入比率の高い順に右グラフの通りとなっています。

【成長分野別組入状況】



（注1）比率は対組入株式等評価額比です。

（注2）成長分野は、当ファンドの運用方針に基づきニッセイアセットマネジメントが独自に分類したものです。

## ベンチマークとの差異

当ファンドは、日本を含む各国の「医療関連企業」の中から、世界の医療関連ビジネス拡大の恩恵を受け、今後、利益成長が期待できる銘柄に投資を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2023年3月18日～2023年9月19日
当期分配金（税引前）	1,100円
対基準価額比率	7.50%
当期の収益	1,100円
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	3,560円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

当ファンドは、主に日本を含む各国の「医療関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

当ファンドが投資対象とする「医療関連企業」は、激しい景気変動や先進各国の財政問題が拡大する環境下でも良好な業績を示し、先行き不透明な環境を乗り越えてきました。足元では各国中央銀行による金融引き締めが進められ、地政学および景気後退リスクが依然として高い中、ヘルスケアセクターは業績の安定性および資本還元を好ましい水準のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）で提供しているセクターの一つと見込んでいます。今後も、イノベーション（技術革新）にけん引された新製品の販売などにより医療業界のファンダメンタルズ（基礎的条件）が強固で良好な流れは継続すると見込んでいます。また、さらなる技術革新やITを活用した新たなサービスなどが広がることが期待され、多様な成長分野を見だし、明確な戦略を有する「医療関連企業」の収益は着実に増加することが見込まれるため、株式市場の上昇時において魅力ある「医療関連企業」は株価上昇が期待されます。

基本的な「医療」関連市場の成長シナリオは、経済成長が著しい新興国が豊かになるにつれ、所得上昇と高齢化を通じて市場が拡大していくという見方に変更はありません。また先進国においても、財政悪化による医療の質的転換がさらに進むと考えられ、新しい医療技術や薬品・医療ビジネスが誕生していることから、その投資機会の豊富さに変わりはないと考えています。

今後も、これまで通り成長テーマを持つ世界中の企業への取材を行い、その中から収益の拡大が見込まれ、株価上昇が期待できる「医療産業」関連銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築していく方針です。



# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### ■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
ELI LILLY & CO	米ドル	9.2%
NOVO-NORDISK A/S	デンマーク・クローネ	8.9
JOHNSON & JOHNSON	米ドル	7.4
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	米ドル	6.6
UNITEDHEALTH GROUP INC	米ドル	6.5
MERCK & CO INC	米ドル	5.5
ABBVIE INC	米ドル	4.5
PFIZER INC	米ドル	3.8
NOVARTIS AG	スイス・フラン	3.7
ROCHE HOLDING AG	スイス・フラン	3.6
組入銘柄数		28

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

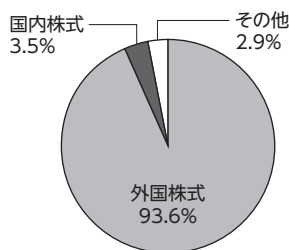
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

### ■ 純資産等

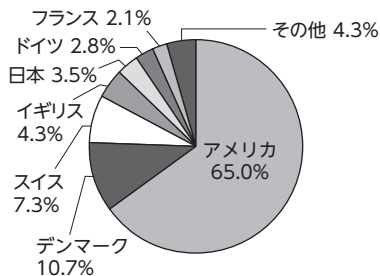
項目	第25期末 2023年9月19日
純資産総額	3,532,192,210円
受益権総口数	2,604,807,892口
1万口当たり基準価額	13,560円

(注) 当期間中における追加設定元本額は130,101,207円、同解除元本額は377,339,602円です。

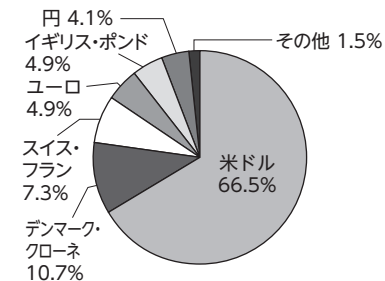
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、2023年9月19日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	株式 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金		
	円	円	%	円	%	百万円
21期(2021年9月17日)	12,793	900	13.5	26,193	95.3	2,809
22期(2022年3月17日)	13,162	700	8.4	27,262	95.9	2,748
23期(2022年9月20日)	13,525	1,100	11.1	28,725	95.3	3,678
24期(2023年3月17日)	12,369	700	△ 3.4	28,269	94.1	3,527
25期(2023年9月19日)	13,560	1,100	18.5	30,560	97.0	3,532

(注1) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	株式 組入比率
			%
(期首)2023年3月17日	円 12,369	% -	% 94.1
3月末	12,728	2.9	92.5
4月末	13,215	6.8	96.4
5月末	13,281	7.4	98.5
6月末	13,952	12.8	97.0
7月末	13,906	12.4	96.6
8月末	14,765	19.4	97.2
(期末)2023年9月19日	14,660	18.5	97.0

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

## 売買および取引の状況

2023年3月18日～2023年9月19日

## 株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株 -	千円 -	千株 21	千円 86,111
	アメリカ	百株 25	千米ドル 437	百株 194	千米ドル 2,780
外国	オーストラリア	-	千オーストラリア・ドル -	2	千オーストラリア・ドル 81
	イギリス	76	千イギリス・ポンド 116	48	千イギリス・ポンド 133
	スイス	14	千スイス・フラン 129	35	千スイス・フラン 378
	デンマーク	8 (114)	千デンマーク・クローネ 994	25	千デンマーク・クローネ 2,806
	ユーロ 圏		千ユーロ		千ユーロ
	フランス ドイツ	12 -	131 -	7 10	73 102

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) ( ) 内は株式分割、合併などによる増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注4) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	807,927千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,695,701千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.21

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（決算日の属する月については決算日）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

## 主要な売買銘柄

2023年3月18日～2023年9月19日

## 株式

銘柄	買付				売付		
	株数	金額	平均単価		銘柄	株数	金額
	千株	千円	円		千株	千円	円
NOVO-NORDISK A/S	0.887	19,757	22,275	第一三共	16	69,300	4,125
ELI LILLY & CO	0.392	19,645	50,115	NOVO-NORDISK A/S	1	48,569	26,000
GSK PLC	7	19,593	2,559	ELI LILLY & CO	0.624	48,087	77,063
MERCK & CO INC	1	19,574	15,400	JOHNSON & JOHNSON	1	42,260	23,781
SANOFI	1	19,528	15,114	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	0.502	37,947	75,592
NOVARTIS AG	1	19,509	13,067	UNITEDHEALTH GROUP INC	0.522	37,026	70,932
JOHNSON & JOHNSON	0.882	19,492	22,100	MERCK & CO INC	1	30,959	15,771
—	—	—	—	ABBVIE INC	1	24,066	21,000
				PFIZER INC	4	22,860	5,168
				ROCHE HOLDING AG	0.486	21,032	43,277

(注1) 金額は受渡代金で、外国株式は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 利害関係人との取引状況等

2023年3月18日～2023年9月19日

当期における利害関係人との取引はありません。

## 組入有価証券明細表

2023年9月19日現在

(1) 国内株式  
上場株式

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
<b>医薬品(100.0%)</b>			
ロート製薬	34	30	122,790
第一三共	16	—	—
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	51	30 122,790
		2	1 <3.5%>

(注1) 銘柄欄の( )内は、当期末における国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## (2) 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千米ドル	千円		
(アメリカ)						
ABBOTT LABORATORIES	82	70	714	105,549	ヘルスケア機器・サービス	
ABBVIE INC	82	70	1,086	160,555	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
AMGEN INC	29	25	674	99,675	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	123	106	622	91,888	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
DANAHER CORP	21	18	479	70,817	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ELI LILLY & CO	40	38	2,197	324,583	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
GILEAD SCIENCES INC	58	50	379	56,035	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ILLUMINA INC	7	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INTUITIVE SURGICAL INC	29	25	761	112,544	ヘルスケア機器・サービス	
JOHNSON & JOHNSON	118	109	1,779	262,866	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MEDTRONIC PLC	73	63	524	77,428	ヘルスケア機器・サービス	
MERCK & CO INC	127	121	1,304	192,747	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MODERNA INC	12	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PFIZER INC	316	272	916	135,462	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
REGENERON PHARMACEUTICALS	4	4	352	52,132	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	35	30	1,570	231,996	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
UNITEDHEALTH GROUP INC	37	32	1,564	231,142	ヘルスケア機器・サービス	
ZOETIS INC	39	33	606	89,598	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,243	1,073	15,535	2,295,025	
		18	16	—	<65.0%>	

## ニッセイ次世代医療ファンド

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等	
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
<b>(オーストラリア)</b>	百株	百株	千オーストラリア・ドル	千円		
CSL LIMITED	21	18	489	46,569	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	21 1	18 1	489 -	46,569 <1.3%>	
<b>(香港)</b>			千香港ドル			
CHINA ANIMAL HEALTHCARE LTD	7,110	7,110	0.711	13	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,110 1	7,110 1	0.711 -	13 <0.0%>	
<b>(イギリス)</b>			千イギリス・ポンド			
ASTRAZENECA PLC	48	42	451	82,639	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
GSK PLC	219	254	383	70,159	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	268 2	296 2	835 -	152,799 <4.3%>	
<b>(スイス)</b>			千スイス・フラン			
ALCON INC	16	-	-	-	ヘルスケア機器・サービス	
NOVARTIS AG	86	87	803	132,246	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ROCHE HOLDING AG	34	29	772	127,209	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	138 3	117 2	1,575 -	259,456 <7.3%>	
<b>(デンマーク)</b>			千デンマーク・クローネ			
COLOPLAST-B	45	39	3,029	64,162	ヘルスケア機器・サービス	
NOVO-NORDISK A/S	124	228	14,874	315,045	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	169 2	267 2	17,904 -	379,207 <10.7%>	
<b>(ユーロ/フランス)</b>			千ユーロ			
SANOFI	40	45	463	73,168	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	40 1	45 1	463 -	73,168 <2.1%>	
<b>(ユーロ/ドイツ)</b>						
BAYER AG	42	36	177	27,953	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MERCK KGAA	32	28	450	71,122	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	74 2	64 2	627 -	99,075 <2.8%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	114 3	109 3	1,090 -	172,244 <4.9%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	9,065 30	8,994 27	- -	3,305,315 <93.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

(注4) 業種はGICS分類(産業グループ)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

## 投資信託財産の構成

2023年9月19日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	3,428,105	87.8
コール・ローン等、その他	477,703	12.2
投資信託財産総額	3,905,809	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月19日における邦貨換算レートは、1米ドル147.73円、1オーストラリア・ドル95.06円、1香港ドル18.90円、1イギリス・ポンド182.93円、1スイス・フラン164.66円、1デンマーク・クローネ21.18円、100韓国ウォン11.19円、1ユーロ157.91円です。

(注2) 外貨建純資産（3,387,102千円）の投資信託財産総額（3,905,809千円）に対する比率は86.7%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## ニッセイ次世代医療ファンド

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年9月19日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>3,905,809,186円</b>
コール・ローン等	473,922,567
株式(評価額)	3,428,105,565
未収配当金	3,781,054
<b>(B) 負債</b>	<b>373,616,976</b>
未払収益分配金	286,528,868
未払解約金	51,154,585
未払信託報酬	35,765,573
その他未払費用	167,950
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>3,532,192,210</b>
元本	2,604,807,892
次期繰越損益金	927,384,318
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,604,807,892口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>13,560円</b>

(注) 期首元本額	2,852,046,287円
期中追加設定元本額	130,101,207円
期中一部解約元本額	377,339,602円

### 損益の状況

当期 (2023年3月18日~2023年9月19日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>33,250,156円</b>
受取配当金	32,300,993
受取利息	469,863
その他収益金	503,355
支払利息	△ 24,055
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>590,612,975</b>
売買益	737,565,042
売買損	△ 146,952,067
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 36,658,879</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>587,204,252</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 42,984,021</b>
(分配準備積立金)	( 75,641,577)
(繰越欠損金)	(△ 118,625,598)
<b>(F) 追加信託差損益金*</b>	<b>669,692,955</b>
(配当等相当額)	( 625,449,554)
(売買損益相当額)	( 44,243,401)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>1,213,913,186</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 286,528,868</b>
<b>次期繰越損益金(G+H)</b>	<b>927,384,318</b>
追加信託差損益金	669,692,955
(配当等相当額)	( 625,449,554)
(売買損益相当額)	( 44,243,401)
分配準備積立金	257,691,363

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。



## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	31,296,238円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	437,282,416円
(c) 信託約款に定める収益調整金	669,692,955円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	75,641,577円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	1,213,913,186円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	4,660.28円
(g) 分配金	286,528,868円
(h) 分配金 (1万口当たり)	1,100円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2011年3月18日～2026年3月17日
運用方針	主に日本を含む各国の「医療関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。
主要運用対象	日本を含む各国の株式
運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。